

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	236 名

窓口	総務課
担当者	渡辺 沙織
TEL	049-271-7712
Email	somuka18@stf.josai.ac.jp
産連HP	https://www.josai.ac.jp/about/activity/collabo.html
シーズDB	https://researcher.josai.ac.jp

産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	名					
専門家の配置		弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

		研究者あたり
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	0	0.000

出願数上位技術分野（2019年公開）

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学；衛生学	2

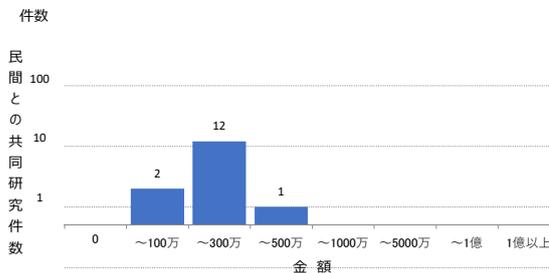
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
千円			32,199

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
20%以上25%未満	有	無	有
			無

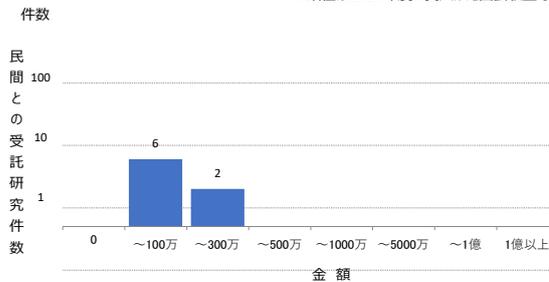
共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	19,787	16	25,176	15	位
民間企業のみ	19,787	16	25,176	15	位
大企業	17,107	13	23,876	13	位
中小企業	2,680	3	1,300	2	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

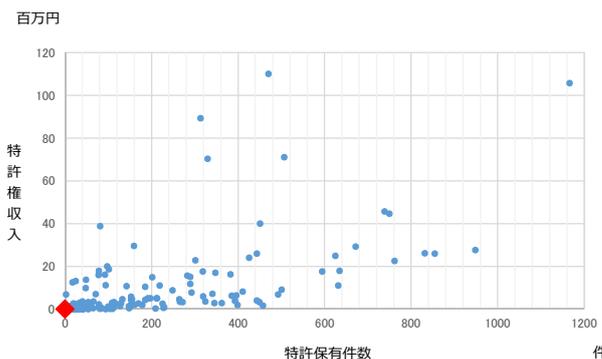


受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	6,047	6	8,253	9	位
民間企業のみ	6,047	6	7,023	8	位
大企業	2,097	3	3,401	5	位
中小企業	3,950	3	3,622	3	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社		インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数
有	無	有	無	件
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）		利用件数	件
有	無			

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	1名	297

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド	有	無
有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）	利用件数	件
有	無		

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
川崎市オンライン版ネットワーク交流会	2020年10月
東京都中小企業振興公社 インノベーション多摩支援事業 産学連携合同 WEB面談会	2021年1月～3月
ヴァーチャル産業交流展2020	2021年1月～2月

その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	1 名	207

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	1	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	1 社	インキュベーション施設	
相談窓口		支援ファンド	
有	無	有	無
有	無	有	無
有	無	有	無

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
中信ビジネスフェア	10月
JA大感謝祭	11月
こども仕事博@右京	11月

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

文理総合大学の特徴を活かし、医療・健康・福祉系学部・研究科における資格専門職間の相互の理解と協働をテーマにした教育・研究を展開し、超高齢社会における地域の医療と福祉関連分野を得意とする。

産学官連携活動において今後重点化したい事項

学外の団体・企業等のニーズに対し、本学の研究シーズを活用し、応用できるよう、各種フォーラム、展示会、交流会に出展し、官民との研究推進に繋げていく。

運営費交付金	百万円
研究者数	363 名

窓口	研究支援センター 研究支援グループ
担当者	片村 正直
TEL	078-974-4297
Email	kenkyu@j.kobegakuin.ac.jp
産連HP	https://www.kobegakuin.ac.jp/facility/rsc/
シーズDB	https://www.kobegakuin.ac.jp/facility/rsc/intellectual/seeds/

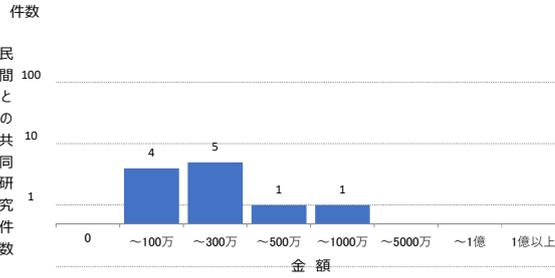
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
10,166 千円	81	2,503	45,646

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有 無	有 無	

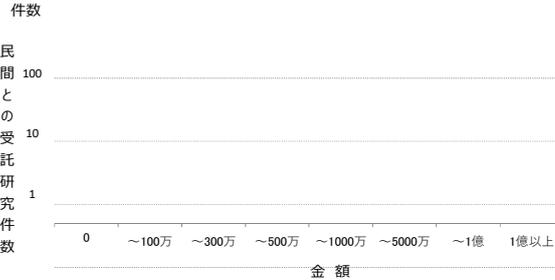
■ 共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	26,178	17	23,446	13	位
民間企業のみ	25,078	16	21,246	11	位
大企業	19,078	8	10,650	3	位
中小企業	6,000	8	10,596	8	位

※順位は2019年度の受入額を国公私立で比較したものの



■ 受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	4,158	9	1,303	3	位
民間企業のみ	614	3	0	0	位
大企業	614	2	0	0	位
中小企業	0	1	0	0	位

※順位は2019年度の受入額を国公私立で比較したものの



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	2 名	182				
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

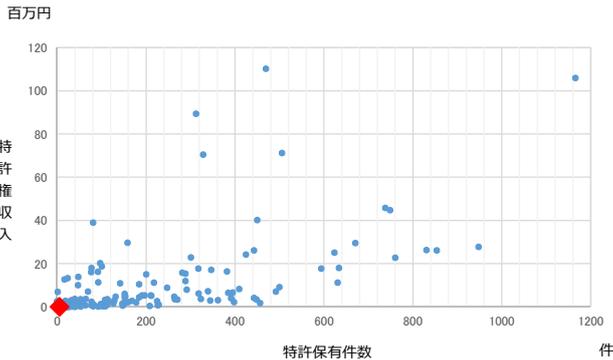
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

	研究者あたり	
特許出願件数	3	0.008
特許保有件数	5	0.014

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学；衛生学	5
2	C07	有機化学	1

特許権実施等件数	3	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	30	10.0



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	1名	363

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程 (教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程 (教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程 (教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績 (人)	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド	有	無
有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画	支援総額 (千円)	利用件数	件
有	無		

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
国際フロンティア農業メッセ2020	9月
はりま産業交流会	10月
Bio Japan 2020	10月

■産学連携活動の主な実用化事例

プロテアーゼ活性のOFF to ON制御を可能にする新技術と応用

本件連絡先					
機関名	神戸学院大学	部署名	研究支援センター 研究支援グループ	TEL	078-974-4297
				E-mail	kenkyu@kobegakuin.ac.jp
概要			図・写真・データ		
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>酵素阻害剤の場合、結合した阻害剤を取り外すには、希釈やタンパク質変性をしなければならぬが、本技術は、酵素阻害後、必要な時に再び酵素活性を取り戻すことができるようになる。また、酵素の室温長期保存も可能となる。</p> <p>・成果</p> <p>神戸学院大学と東京化成工業株式会社は、学校法人神戸学院が所有する特許を利用し、多方面で利用が可能となる技術、リムーバブル阻害剤の1つの化合物例として、HIVプロテアーゼのリムーバブル阻害剤を開発した。製品化に関する特許実施許諾契約を締結し、製品化のための手続きを現在行っている。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>販売会社と大学が、今後の展開、製品に利用目的等の共有化を常に図った。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>元々の技術については、大学単独出願で特許を所有していたが、各種展示会に出展するとともに、関係する企業等とのホームページにあるお問い合わせフォームより技術情報を紹介して、企業と連携を試みた。この結果、同社との製品販売という販路を見出すことに繋がった。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>協議を行う段階での秘密保持契約や話が進んだ後の特許実施許諾契約の締結を窓口としてスムーズに実施できるよう産学連携担当者に対応が求められた。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>阻害剤やリガンドを変えると様々な標的タンパク質に適用できる。また、タンパク質を活性状態のまま取り扱うことができる、全く新しい方法を生み出した。</p>			<p>プロテアーゼ阻害剤を取り除くには従来の技術ではタンパク質変性や大量希釈の後、透析やリフォールディングで手間がかかる →本技術はストレプトアビジンを加えるだけで簡単!</p> <p>ISAAC, [Inhibitor stripping action by affinity competition</p>		
<p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p> <p>出願中の特許内容を含む本技術に関する論文(「Bioconjugate Chemistry」2019年7月号, 30巻, p1979-1985.)が、米国化学会「Bioconjugate Chemistry」誌7月号の表紙絵として掲載された。</p>					

その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	1
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	1	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	105 名

窓口	研究・産学連携支援室
担当者	齊藤 貴伸
TEL	052-612-6132
Email	crc@daito-it.ac.jp
産連HP	https://www.daito-it.ac.jp/research/
シーズDB	http://kenkyu.daito-it.ac.jp/scripts/websearch/index.htm?lang=ja

外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
30,459 千円	9	36,473	67,472

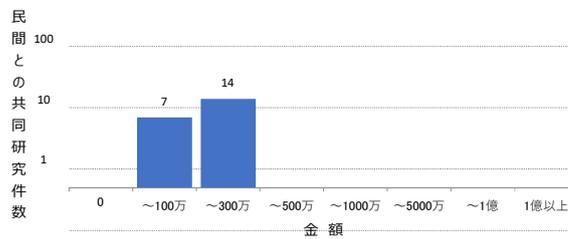
間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有 無	有	無

■共同研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	14,562	19	20,454	23	位
民間企業のみ	11,745	16	19,418	21	位
大企業	10,579	11	18,488	17	位
中小企業	1,166	5	930	4	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

件数

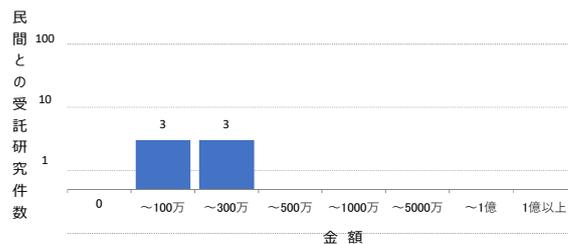


■受託研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	3,391	5	8,869	10	位
民間企業のみ	864	1	7,359	6	位
大企業	864	1	3,100	2	位
中小企業	0	0	4,259	4	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	2 名	53			
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

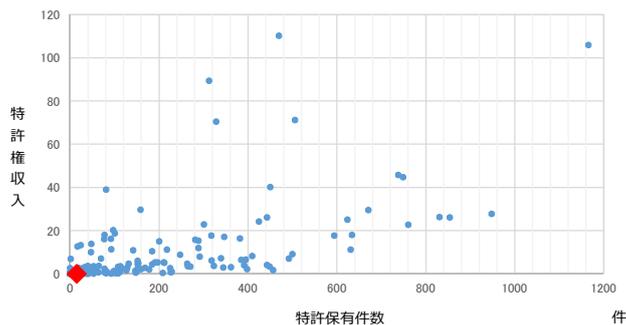
		研究者あたり
特許出願件数	12	0.114
特許保有件数	15	0.143

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	H02	電力の発電、変換、配電	12
2	A61	医学・獣医学；衛生学	2
3	B22	鋳造、粉末冶金	2
4	G01	測定、試験	2
5	B29	プラスチックの加工、可塑状態の物質の加工一般	1
6	B32	積層体	1
7	B64	航空機、飛行、宇宙工学	1
8	C08	有機高分子化合物等	1
9	C10	石油、ガスまたはコークス工業、一酸化炭素を含有する工業ガス、燃料、潤滑剤、てい液	1
10	D06	繊維等の処理；洗濯；可とう性材料等	1

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

百万円



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	612	百万円
研究者数	612	名

窓口	リサーチ・イニシアティブセンター
担当者	大井 良介
TEL	03-3985-4608
Email	r-chizai@rikkyo.ac.jp
産連HP	https://www.rikkyo.ac.jp/research/initiative/cooperation/
シーズDB	https://www.rikkyo.ac.jp/research/cooperation/invent.html

外部資金

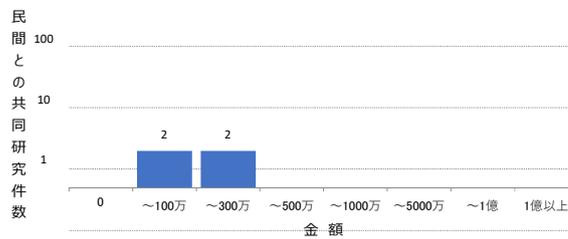
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
576,225	千円	402	

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有	無	有
			無

■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	14,477	6	20,451	7	位
民間企業のみ	7,937	4	3,369	4	位
大企業	7,937	4	2,369	3	位
中小企業	0	0	1,000	1	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

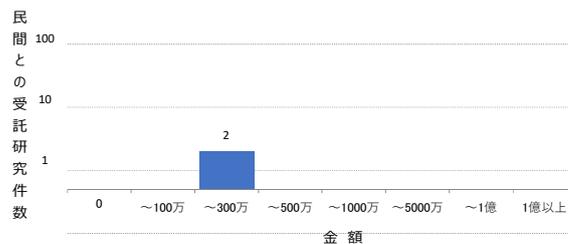
件数



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	143,066	17	116,297	15	位
民間企業のみ	1,324	2	3,500	2	位
大企業	1,324	2	3,500	2	位
中小企業	0	0	0	0	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	1	名	612		
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

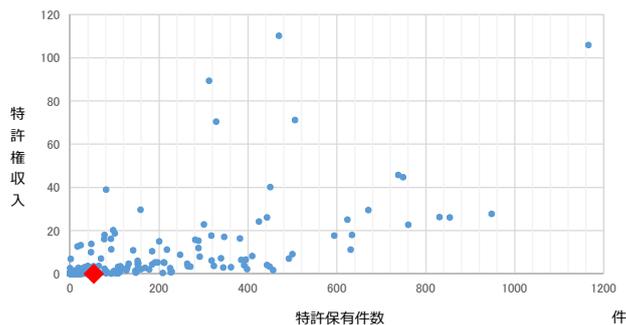
		研究者あたり
特許出願件数	9	0.015
特許保有件数	53	0.087

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	C08	有機高分子化合物等	5
2	C07	有機化学	1

特許権実施等件数	13	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	16	1.2

百万円



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	254 名

窓口	研究推進課
担当者	武部 夏生
TEL	011-688-2241
Email	kenkyu@hus.ac.jp
産連HP	https://www.hus.ac.jp/cooperation/ind_det/
シーズDB	https://labs.hus.ac.jp/

外部資金

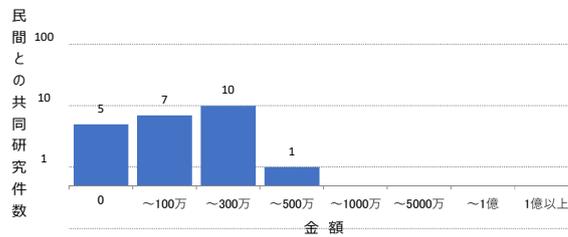
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
54,200 千円	55	21,353	59,309

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
実績有割合無	有 無	有	無

■ 共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	13,166	26	19,569	23	位
民間企業のみ	13,166	26	19,569	23	位
大企業	6,262	11	10,080	11	位
中小企業	6,904	15	9,489	12	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

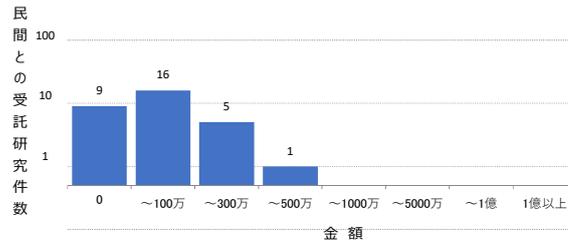
件数



■ 受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	22,319	36	28,466	39	位
民間企業のみ	12,522	28	19,456	31	位
大企業	7,492	17	11,226	17	位
中小企業	5,030	11	8,230	14	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	6 名	42			
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

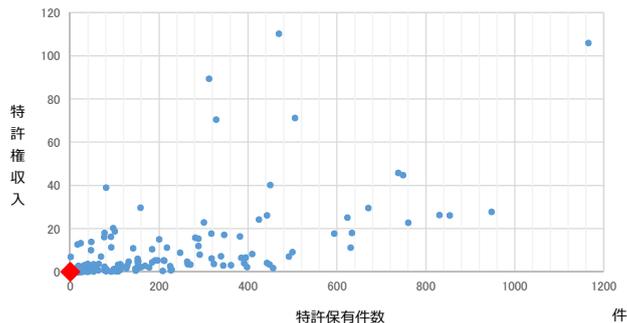
	研究者あたり	
特許出願件数	1	0.004
特許保有件数	0	0.000

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

百万円



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設	
相談窓口		支援ファンド		
有	無	有	無	部屋数
				件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数
有	無			件

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
イノベーション・ジャパン2020-大学見本市	9月
BioJapan2020	10月
北海道技術ビジネス交流会（ビジネスEXPO）	11月

■産学連携活動の主な実用化事例

車いすに乗ったまま階段を下降できる「車いす用階段避難車」の開発							
本件連絡先							
機関名	北海道科学大学	部署名	研究推進課	TEL	011-688-2241	E-mail	kenkyu@hus.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>医療機関、公共施設やビルなどの階段の段数が多くなることに伴う、車いす使用者が避難する際の介助者の身体的負担の増大</p> <p>・成果</p> <p>株式会社サンワ、札幌市消防局、本学との産学官共同研究により、モーターなどの動力を用いずに介助者1人で車いすに乗車したまま階下への避難を可能とする「チェアキャリダグ」を製品化した。これにより災害発生時に階下への迅速な避難を可能とした。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>札幌市消防局と本学の先行試作の成果を元に株式会社サンワが保有する技術を組み合わせることにより、効率的かつ効果的な研究が可能であった</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>高齢者入所施設の夜間火災時を想定した避難訓練の見学調査を行ったことから、札幌市消防局と本学が「車椅子避難器具の開発」を目的とした共同研究を実施し、その成果を元に階段昇降車の開発・販売と専門技術を有する株式会社サンワによる共同研究開発に繋がった</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>特許出願可能性の検討や製品改善の方策、試作機試験、試験結果の解析等</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>軽量かつ安価で頑丈なモデルでモーターなどの動力を用いずに介助者1人で車いすに乗車したまま階下への避難が可能</p>				 <p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p> <p>https://www.abilities.jp/fukushi_kaigo_kiki/dansakaisyou/kaidanshoukousha/775550/cc/d-1</p>			

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	17	百万円
研究者数	17	名

窓口	総務課
担当者	菅沼聖子
TEL	053-484-2501
Email	info@gpi.ac.jp
産連HP	
シーズDB	

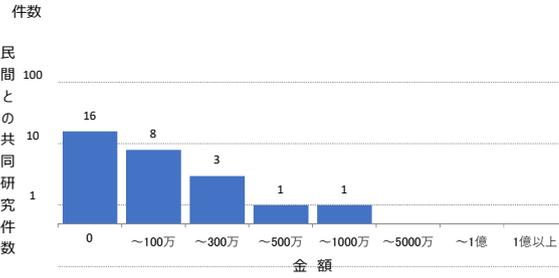
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
15,340	千円	4	73,986
			337,475

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
30%以上	有	無	有
			無

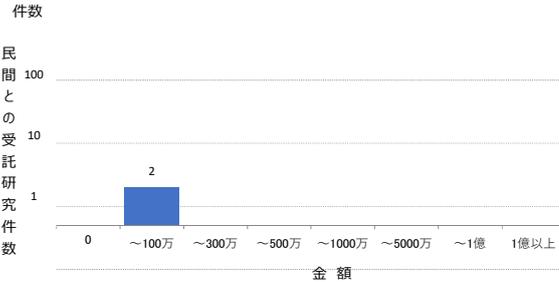
■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	55,013	35	19,526	30	位
民間企業のみ	51,429	34	16,630	29	位
大企業	46,417	21	13,717	18	位
中小企業	5,012	13	2,913	11	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	6,300	3	4,625	3	位
民間企業のみ	2,300	2	625	2	位
大企業	2,000	1	295	1	位
中小企業	300	1	330	1	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	1名	17				
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他	

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願・活用実績

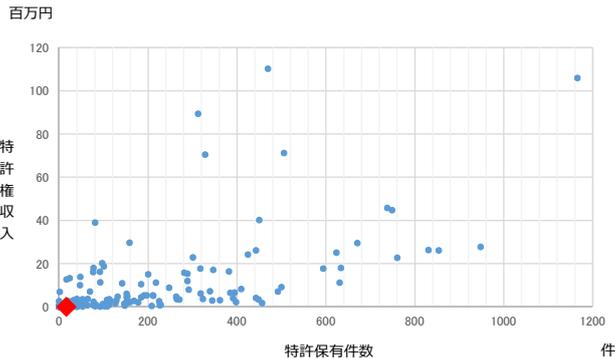
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

		研究者あたり
特許出願件数	2	0.118
特許保有件数	16	0.941

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	2
2	B23	工作機械等	1
3	B27	木材等の加工または保存、釘打ち機・ステール打ち機一般	1
4	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	1
5	G06	計算、計数	1

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	1	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	26	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	26 件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	3 件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	321 名

窓口	学術交流推進部研究推進課
担当者	中村 正人
TEL	0133-23-1129
Email	kyousui@hoku-iryu-u.ac.jp
産連HP	http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~chiikirenkei/
シーズDB	

外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
千円			23,300

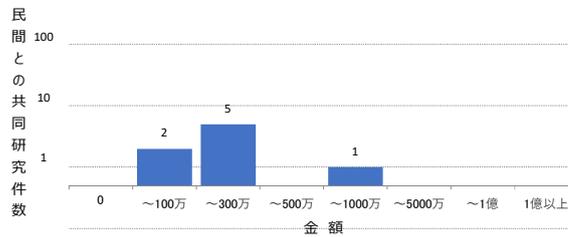
間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
10%未満		有	無	有	無

共同研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	23,264	16	19,439	9	位
民間企業のみ	22,464	14	19,139	8	位
大企業	22,464	14	19,139	8	位
中小企業	0	0	0	0	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

件数

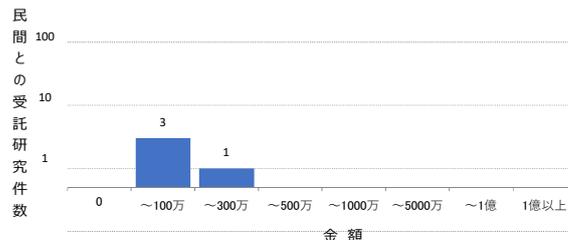


受託研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	1,700	4	4,161	4	位
民間企業のみ	1,200	3	4,161	4	位
大企業	1,200	3	4,161	4	位
中小企業	0	0	0	0	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	2 名	161				
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

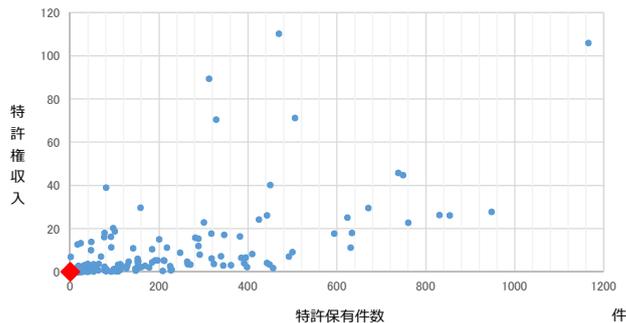
		研究者あたり
特許出願件数	2	0.006
特許保有件数	0	0.000

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数

特許権実施等件数	1	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	3	3.0

百万円



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	2	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	241	百万円
研究者数	241	名

窓口	学長室総合企画課
担当者	青木南
TEL	0422-37-3535
Email	kikaku@jim.seikei.ac.jp
産連HP	https://www.seikei.ac.jp/university/research/cooperation.html
シーズDB	http://cv01.unity.jp/seikei/

外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
112,187	千円	24	64,852
			103,533

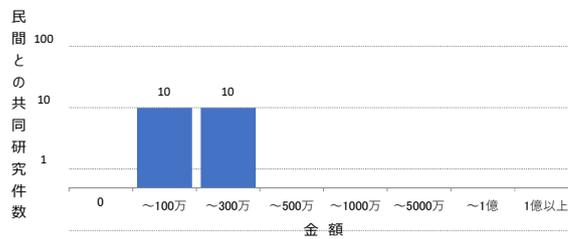
間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有 無	有	無

■共同研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	19,634	16	19,220	20	位
民間企業のみ	19,634	16	19,220	20	位
大企業	16,374	12	16,820	17	位
中小企業	3,260	4	2,400	3	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	2	名	121		
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

		研究者あたり
特許出願件数	2	0.008
特許保有件数	11	0.046

出願数上位技術分野 (2019年公開)

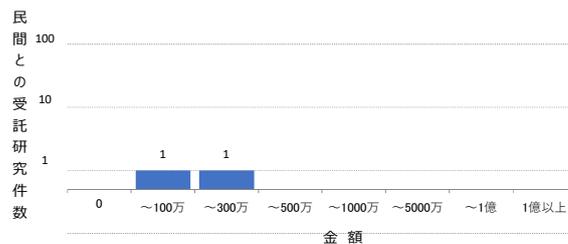
順位	IPC	分野	件数
1	H04	電気通信技術	5
2	G10	楽器、音響	2
3	A61	医学・獣医学；衛生学	1
4	B60	車両一般	1
5	G06	計算、計数	1
6	G08	信号	1
7	G09	教育、暗号方法、表示、広告、シール	1

■受託研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	1,920	3	2,151	3	位
民間企業のみ	1,380	2	1,436	2	位
大企業	0	0	1,436	2	位
中小企業	1,380	2	0	0	位

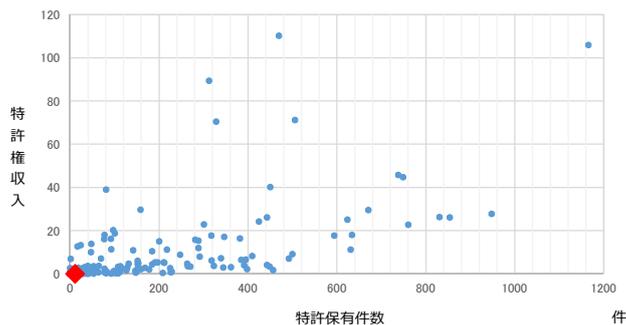
※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数



特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

百万円



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
令和2年度新技術説明会	3月
令和2年度合同シーズ発表会	11月

その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	2	社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数
1	0	1	0	1
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）		利用件数	1
有	無	12,000		

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

■産学連携活動の主な実用化事例

機能性表示食品 モリンガGABA				
本件連絡先				
機関名	名城大学	部署名	地域共創センター	
TEL	096-326-3418	E-mail	ken-sien@ofc.sjo-u.ac.jp	
概要		図・写真・データ		
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>熊本は、農業が盛んで、様々な農産物が栽培・加工され、多くの食品が開発されている。中小企業は付加価値を付けるため、機能性表示食品としての届出を目指す場合、書類作成や機能性評価等のハードルが高い。</p> <p>・成果</p> <p>名城大学の応用微生物工学科とデザイン学科は、天草でモリンガを栽培されている天草モリンガファーム、熊本県産業技術センターと共同研究契約を締結し、天草産モリンガの健康機能性評価と機能性表示食品としての商品化に向けたパッケージの開発、届出のサポートを行い商品化された。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>名城大学と天草モリンガファームがモリンガの機能性評価の研究を進めながら、密に連携し、機能性表示食品の企画・届出書類の作成等を行った。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>名城大学内に事務所を構えるバイオテクノロジー研究推進会の人材育成研修会がきっかけとなり、モリンガの健康機能性解析に関する受託研究を開始した。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>天草産モリンガ葉の健康機能性評価と有効成分の分析を求められ、さらに機能性表示食品としての届出書類作成支援を希望された。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>農産の機能性評価から実際の機能性表示食品としての商品化、パッケージデザインまでを名城大学がサポートすることにより、短時間で商品開発を行うことが可能となった。</p>		<p>天草産モリンガ</p>  <p>機能性表示食品開発支援の概要</p> <p>一般食品 農産物の栽培・収穫 ↓ 加工（新規加工方法の開発） ↓ 販売（産地や味で差別化）</p> <p>機能性表示食品開発支援の概要 健康機能性評価（人試験、動物実験） 関与成分の特定・定量 機能性表示食品企画（関与成分の選別、表示する機能性等） 申請書類の作成支援（人材育成を含む）</p> <p>中小企業の課題 ・新製品を開発したいが、人材や予算が限られている ・機能性表示等で付加価値を付けたいが、やり方がわからない</p> <p>サポートによる新製品開発・ノウハウの提供</p>		
<p>天草産モリンガを主原料とする機能性表示食品「モリンガGABA」</p>  <p>・ファンディング、表彰等 ・参考URL https://www.sjo-u.ac.jp/news/press/2019/191010_003857.html https://www.sjo-u.ac.jp/news/media/2019/191029_003877.html https://www.u-presscenter.jp/article/post-42392.html</p>				

その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設	
相談窓口		支援ファンド	
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）	
有	無	部屋数	件
		利用件数	件

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
北陸技術交流テクノフェア	10月予定

私立

金沢医科大学

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

研究者、企業および行政機関等のそれぞれの立場を理解し、尊重しながら合理的な連携体制を構築し、その活動を推進するための柔軟性の高い支援組織（研究推進センター）を有している。

産学官連携活動において今後重点化したい事項

大学の独自技術や知見、アイデアを媒介にして、それまでには互いに接点のなかった異分野／異業種どうしの連携を実現し、イノベーションを促進する。

運営費交付金 百万円 553
研究者数 名

窓口 研究推進課
担当者 木村 洋輔
TEL 076-218-8326
Email hrc-jimu@kanazawa-med.ac.jp
産連HP <http://www.kanazawa-med.ac.jp/kenkyu/message.html>
シズDB

産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	2名	277				
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 其他					

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0件

特許出願・活用実績

職務発明の所属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

	研究者あたり	
特許出願件数	6	0.011
特許保有件数	24	0.043

出願数上位技術分野（2019年公開）

順位	IPC	分野	件数
1	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	4
2	A61	医学・獣医学；衛生学	2
3	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	1
4	G01	測定、試験	1
5	G02	光学	1

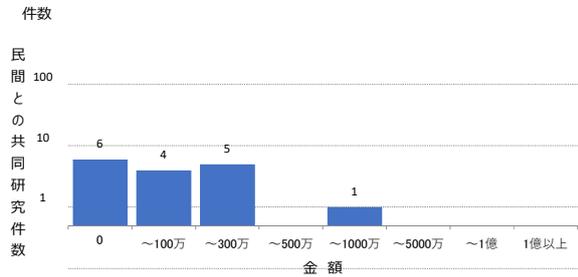
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
221,780 千円	125	94,269	613,873

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
10%以上15%未満		有	無	有	無

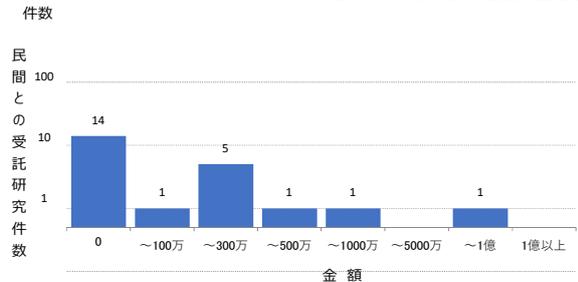
■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	20,886	25	18,400	20	位
民間企業のみ	18,829	17	16,400	16	位
大企業	8,607	13	5,900	11	位
中小企業	10,222	4	10,500	5	位

※順位は2019年度の受入額を国公私立で比較したもの

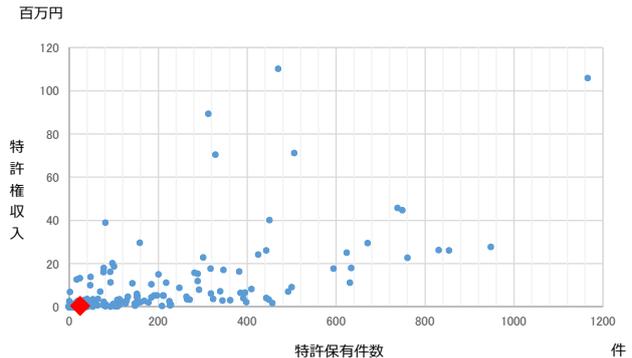


■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	79,937	76	140,547	77	位
民間企業のみ	11,001	24	94,102	23	38位
大企業	4,151	14	89,342	16	31位
中小企業	6,850	10	4,760	7	位

※順位は2019年度の受入額を国公私立で比較したもの



特許権実施等件数	15	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	471	31.4



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	2名	277

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	3社	インキュベーション施設	
相談窓口		支援ファンド	
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）	
有	無	部屋数	件
		利用件数	件

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
BioJapan	10月

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

材料・表面工学分野において、私学トップの特許権実施等件数を誇る他、国内外の企業との研究及び研究者受入れ（育成）を活躍に行っている。（一例：特許第4738308「シクロレフィンポリマー材の表面処理方法」）

産学官連携活動において今後重点化したい事項

- ・基礎的研究成果の公表
- ・研究開発成果の実用化
- ・企業等のニーズに応じた実践的・専門的教育プログラムの提供（人材育成）

運営費交付金	百万円
研究者数	341名

窓口	大学経営課
担当者	鯉登 良介
TEL	045-786-7005
Email	bunsho@kanto-gakuin.ac.jp
産連HP	http://kguramo.kanto-gakuin.ac.jp/
シーズDB	https://kyouin.kanto-gakuin.ac.jp/public/index/

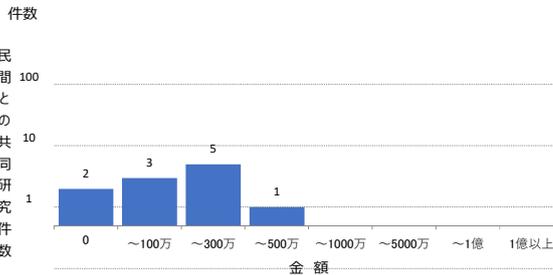
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
90,025	千円	62	32,110

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
10%以上15%未満		有	無	有	無

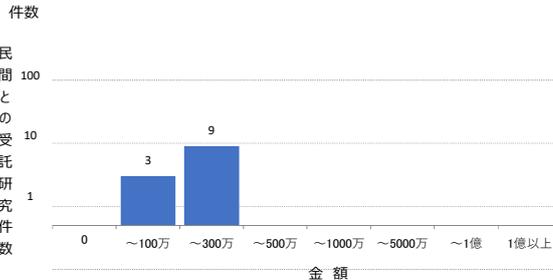
■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	11,055	9	17,821	18	位
民間企業のみ	9,405	8	13,509	11	位
大企業	4,482	2	6,155	6	位
中小企業	4,923	6	7,354	5	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	21,194	22	28,982	22	位
民間企業のみ	16,879	16	14,822	12	位
大企業	15,479	14	12,742	10	位
中小企業	1,400	2	2,080	2	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数		
実務担当者数	2名	171		
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他			

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願・活用実績

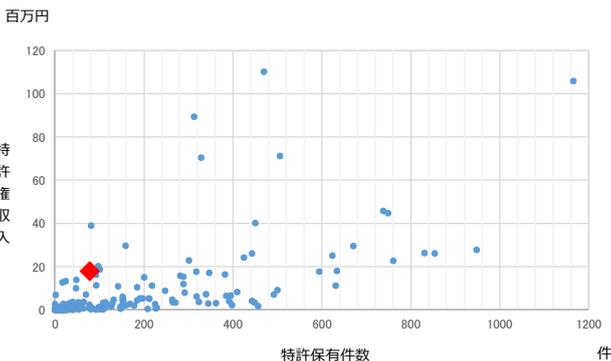
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

	研究者あたり	
特許出願件数	6	0.018
特許保有件数	78	0.229

出願数上位技術分野（2019年公開）

順位	IPC	分野	件数
1	C23	金属材料への被覆；金属材料による材料への被覆 等	6
2	C25	電気分解・電気泳動方法、そのための装置	6
3	H05	他に分類されない電気技術	5
4	A23	食品・食料品等	2
5	B05	霧化・噴霧一般等	2
6	B32	積層体	2
7	D06	繊維等の処理；洗濯；可とう性材料等	2
8	H01	基本的電気素子	2
9	B24	研削、研磨	1
10	E05	錠、鍵（かぎ）、窓または戸の付属品、金庫	1

特許権実施等件数	1,104	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	17,941	16.3



大阪産業大学は、産学官連携事業、知的財産の創造・保護・活用、地域連携活動などの推進を通じ、一層の社会連携を図ることを目的として、「知の創造拠点としての役割」や「大学の使命である社会貢献」を果たしています。

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

①分野：車両技術関連

具体例：ソーラーカーの研究開発、燃料電池車の研究開発、電気自動車の開発
鉄道車両の振動解析

②分野：ヘルスケア・福祉関連・医工連携

具体例：健康サービスを提供する大学ベンチャー設立、段差乗越え車イスの開発、
高齢者見守りシステムの開発、関節鏡手術用実験機器の開発、
手術シミュレーション装置の開発

産学官連携活動において今後重点化したい事項

- ・地元企業との受託・共同研究等の実施
- ・技術相談を積極的に受け入れ、企業と研究者のマッチングを促進

運営費交付金

	百万円
217	名

研究者数

窓口	産業研究所事務室
担当者	古川 章
TEL	072-875-3001
Email	sangaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp
産連HP	https://www.osaka-sandai.ac.jp/rs/jiga_coope/jiga.html
シーズDB	http://kenkyu.osaka-sandai.ac.jp/scripts/websearch/index.htm

外部資金

科研費		其他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
45,505	千円	39	4,997

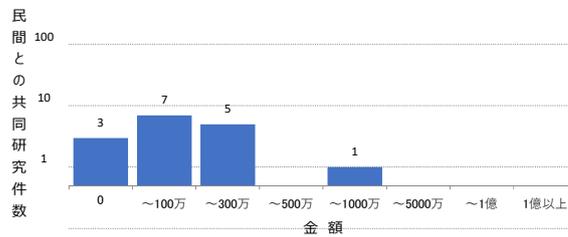
間接経費割合	10%以上15%未満
--------	------------

株式の保有		新株予約権の保有	
有	無	有	無

■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	11,782	15	17,217	17	位
民間企業のみ	10,782	14	16,217	16	位
大企業	4,055	4	9,723	5	位
中小企業	6,727	10	6,494	11	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

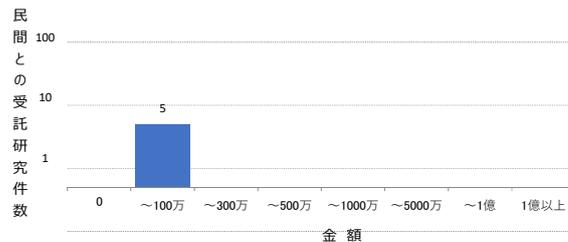
件数



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	6,712	12	8,580	10	位
民間企業のみ	3,358	6	1,191	5	位
大企業	2,657	3	360	1	位
中小企業	701	3	831	4	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	2名	109				
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

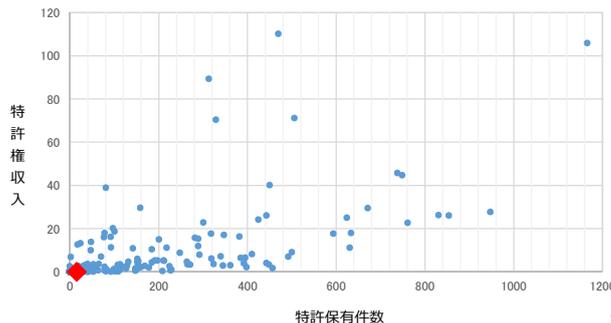
	研究者あたり	
特許出願件数	1	0.005
特許保有件数	15	0.069

特許権実施等件数	1	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	0.0

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学；衛生学	3
2	G01	測定、試験	3
3	G09	教育、暗号方法、表示、広告、シール	2
4	B62	鉄道以外の路面車両	1
5	F16	機械要素・単位、機械・装置の効率的機能を生じ維持するための一般的手段	1
6	H03	基本電子回路	1

百万円



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	1名	217

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	4社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド	有	無
有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）	利用件数	件
有	無		

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
イノベーション・ジャパン2020	8月
第10回おおた研究・開発フェア	10月
新技術説明会	3月

■産学連携活動の主な実用化事例

クラウドファンディングを利用した学生アイデア商品開発

本件連絡先			
機関名	大阪産業大学	部署名	産業研究所事務室
TEL	072-875-3001	E-mail	sangaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp
概要		図・写真・データ	
<p>この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>中小企業の新たな販売戦略が求められている。</p> <p>成果</p> <p>学生アイデアを基にした商品開発を地元企業と実施。商品をクラウドファンディングに出品し、目標金額を上回る売り上げを達成した。</p> <p>実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>大東商工会議所様に橋渡しをして頂き、クラウドファンディングを利用した販売戦略を立ち上げた地元企業と、アクティブラーニングの一環として地元企業との連携を模索していた研究室がWinWinの関係で共同開発を実施できたこと。</p> <p>研究開発のきっかけ</p> <p>連携先企業が、学生アイデアを基にした革製品を開発しクラウドファンディングで販売したい思いがあったこと。 研究者が、ゼミ生のアクティブラーニングとなるフィールドを模索していたこと。</p> <p>民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>知的財産権の権利譲渡。 クラウドファンディングを利用するにあたり、大学名を表記したい。</p> <p>技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>若者の革製品離れが進むなか、学生目線で学生が欲しいと思う革製品を開発したこと。 クラウドファンディングを利用した販売戦略。</p>		<p>さりげなく自己主張</p> <p>ポケット専用ペンケース</p> <p>「Penna」新登場！</p>  <p>ファンディング、表彰等 参考URL</p> <p>Makuakeでクラウドファンディングを実施し、目標額を達成した</p>	

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	420 名

窓口	社会連携センター事務室
担当者	伊勢戸 勇樹
TEL	075-705-1778
Email	shakai-renkei@star.kyoto-su.ac.jp
産連HP	https://www.kyoto-su.ac.jp/collaboration/liaison.html
シーズDB	https://www.kyoto-su.ac.jp/collaboration/seeds.html

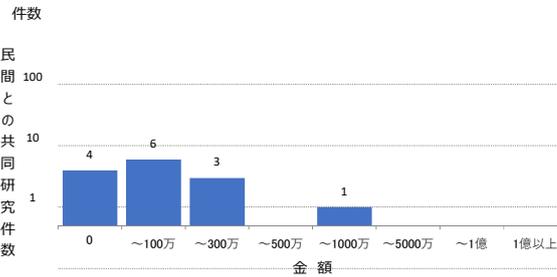
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
349,437	千円	163	

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
10%以上15%未満		有	無	有	無

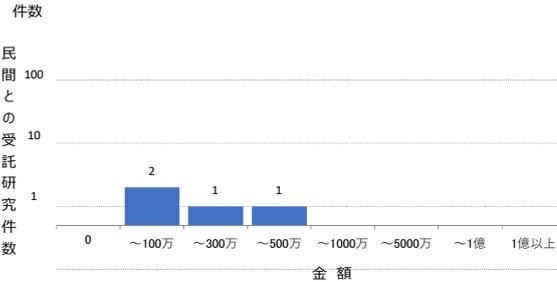
■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	21,045	15	17,012	16	位
民間企業のみ	7,261	10	14,350	14	位
大企業	4,761	7	9,350	10	位
中小企業	2,500	3	5,000	4	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	125,109	12	59,871	13	位
民間企業のみ	500	1	6,550	4	位
大企業	500	1	2,050	3	位
中小企業	0	0	4,500	1	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数			
実務担当者数	3 名	140			
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他				

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

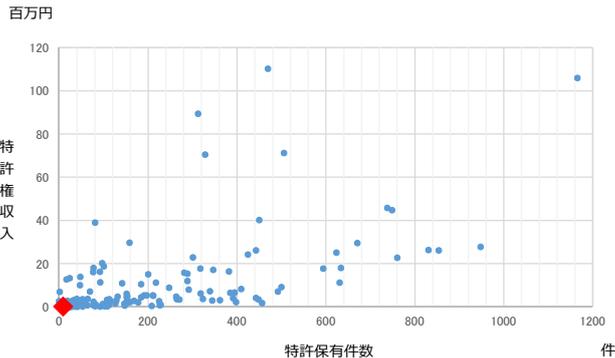
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

		研究者あたり
特許出願件数	2	0.005
特許保有件数	9	0.021

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	2
2	A61	医学・獣医学；衛生学	2
3	G01	測定、試験	2
4	G06	計算、計数	2
5	A63	スポーツ、ゲーム、娯楽	1
6	C07	有機化学	1
7	G10	楽器、音響	1
8	H04	電気通信技術	1

特許権実施等件数	2	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	227	113.5



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	1名	420

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	1	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設	
相談窓口		支援ファンド	
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画		部屋数	件
		支援総額（千円）	利用件数
有	無		件

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社		インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数
件	件	件	件	件
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）		利用件数	件
有	無			

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
くみに街道まつり	2019.10.29

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	73 名

窓口	研究推進機構事務室
担当者	田辺 真
TEL	0749-64-8100
Email	center.jimu@ml.nagahama-i-bio.ac.jp
産連HP	
シーズDB	

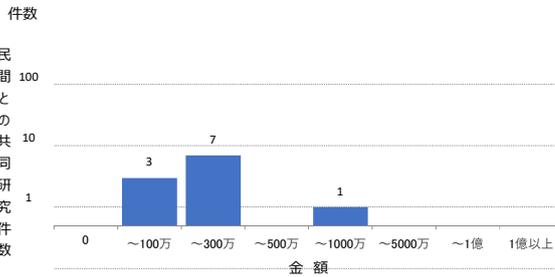
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
61,011 千円	30	17,966	25,312

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有 無	有 無	

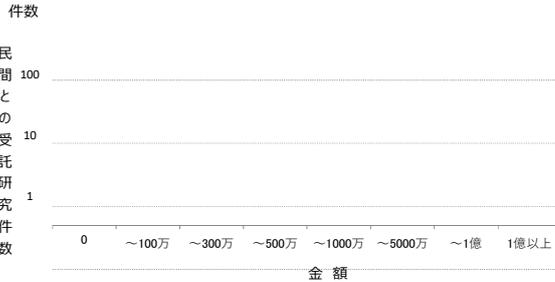
■ 共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	9,733	6	16,088	11	位
民間企業のみ	9,463	5	16,088	11	位
大企業	7,413	3	8,188	3	位
中小企業	2,050	2	7,900	8	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



■ 受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	41,133	4	0	0	位
民間企業のみ	2,000	1	0	0	位
大企業	2,000	1	0	0	位
中小企業	0	0	0	0	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	3 名	24				
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

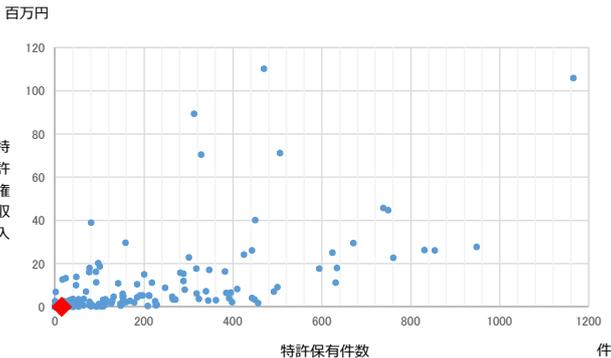
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

	研究者あたり	
特許出願件数	4	0.055
特許保有件数	15	0.205

出願数上位技術分野（2019年公開）

順位	IPC	分野	件数

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	3	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設			
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	2名	189

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設			
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
みやぎ地域連携マッチング・デイズ2021	2021年1月

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

瀬戸内の中心に位置する典型的な里山・里海地域という特徴と総合大学としてのシナジーを活かし、持続可能な地域社会構築に向けた大学研究プロジェクト「瀬戸内の里山・里海学」を展開し、ワイン、養殖、生態系、健康、防災といった多岐に亘るプロジェクトで産学官連携を推進している。

産学官連携活動において今後重点化したい事項

2020年度より備後圏域経済・文化研究センターを開設した。今後、生命・薬学系、工学系に加えて、文理両面に亘る産学官連携プロジェクトとして全学的な取り組みを推進していきたい。

運営費交付金

	百万円
218	名

研究者数

窓口	総務部 企画・文書課
担当者	山下美莉
TEL	084-936-2111
Email	yamashita.m@fukuyama-u.ac.jp
産連HP	
シーズDB	

外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
45,159	千円	55	400
			28,281

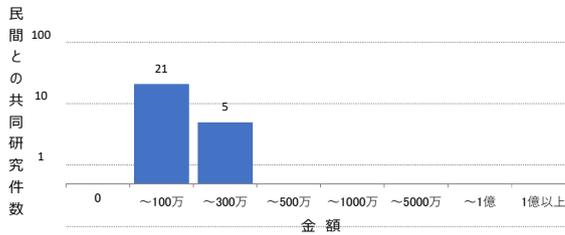
間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
10%以上15%未満		有	無	有	無

■共同研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	17,229	31	15,228	26	位
民間企業のみ	17,229	31	15,228	26	位
大企業	9,334	20	7,334	15	位
中小企業	7,895	11	7,894	11	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数

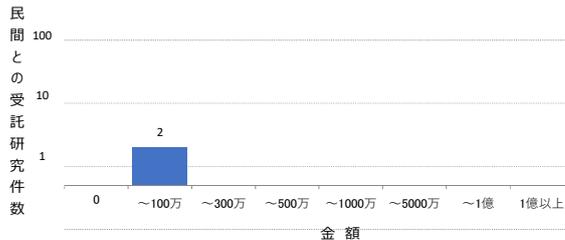


■受託研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	5,356	9	11,203	7	位
民間企業のみ	500	1	750	2	位
大企業	0	0	500	1	位
中小企業	500	1	250	1	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数			
実務担当者数	1名	218			
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他				

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

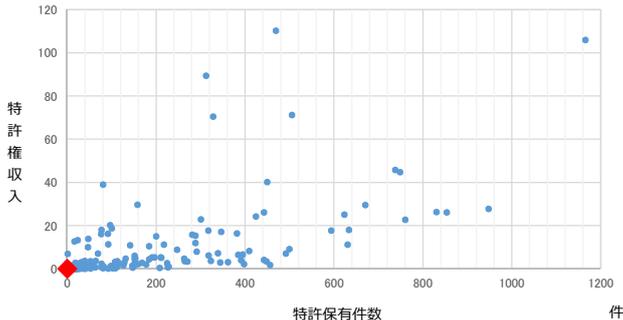
	研究者あたり	
特許出願件数	3	0.014
特許保有件数	0	0.000

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	E04	建築物	2
2	A61	医学・獣医学；衛生学	1
3	F16	機械要素・単位、機械・装置の効率的機能を生じ維持するための一般的手段	1

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

百万円



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数	
実務担当者数	1名		218

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程 (教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程 (教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程 (教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績 (人)	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド	有	無
有	無	有	無
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画	支援総額 (千円)	部屋数	件
有	無	利用件数	件
有	無	有	無

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
6大学エクステンション連携講座	5月
福山大学研究成果発表会	6月
ビジネス交流フェア	2月

■組織的産学連携活動の取組事例

組織的産学官連携活動の取組事例

瀬戸内の里山・里海学プロジェクト

概要

福山大学では、2013年に締結した福山市との包括協定に基づいた福山大学ワインプロジェクトや、笠岡市教育委員会との包括協定に基づくカトガニの生態研究等を実施し成果を上げている他、2017年3月には国土交通省中国地方整備局との包括的連携・協力を締結し地域づくり、環境保全、文化他様々な分野に亘る連携をスタートしている。更に産学官連携組織としては2002年に発足した「福山大学バイオビジネス交流会」をベースに2013年に工学部を加えて「ビジネス交流会：福山未来」として地域振興に向けた連携体制を確立している他、2016年には広島銀行と地域課題解決、地域発展、研究成果活用等に関する連携協定を締結して産学官金の連携の輪を広げてきている。このような経緯の中で、本学のブランディング戦略の一環として2015年度に本学独自の研究プロジェクトとして「瀬戸内の里山・里海学」を立ち上げた。

大学の所在する福山市は備後圏域の中心に位置しナンバーワン、オンリーワン企業が多く大小様々な産業が発達する個性的な地域であると共に、穏やかな瀬戸内の自然環境の下、典型的な里山・里海の広がる資源豊富で安全な住みやすい地域である。このような地域の特徴を活かした研究プロジェクト「瀬戸内の里山・里海学」では、上述のワインプロジェクト、カトガニ研究に加え、地元の飲食業、養殖業との連携によるまなみテッポウギスプロジェクト、国土交通省中国地方整備局との包括的連携・協力に基づく芦田川の環境保全と防災に関わる研究、里山・里海に暮らす人々の健康や経済・文化に関わる研究など、多くのプロジェクトを並行して推進している。

体制図等

■産学連携活動の主な実用化事例

福山バラ酵母を用いた新規パン種の開発と全国展開

機関名		福山大学	部署名	総務部 企画・文書課	TEL	084-936-2111	E-mail	yamashita.m@fukuyama-u.ac.jp
概要								
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題 産学官が連携して、地域活性化を促すような特産品を開発・製造・販売する。このようなユニークな企画と実践を通して、地域のブランディング形成に資する。</p>								
成果								
<p>福山大学は「100万本のばらの街づくり」をキャッチコピーとして、市の花にバラを選定している。そこで、福山市で栽培されたバラに生息する野生酵母を用いて、地域特有なパン種を開発・製造し、全国に向けて販売を展開した。これは、地域活性化や地域ブランディングの有用なモデルとなった。</p>								
実用化まで至ったポイント、要因								
<p>バラのまち福山で栽培されたバラの花を提供(福山市) → バラの花から野生酵母を分離(バイオ) の力でパン種に適した酵母菌株を選別(福山大学生命工学部生物工学科分子生物学研究室: 久富教授主宰) → バラ酵母を用いて新規な優良パン種を開発・製造(ホシノ天然酵母パン種) → ホシノ薔薇酵母パン種として全国市場へ展開(ぬまくま夢工房)</p>								
研究開発のきっかけ								
<p>上記のように、バラのまち福山を社会に発信するために、福山市がバイオの拠点である福山大学に地域活性化のアイデアを依頼。福山大学のバイオ研究と優良パン種製造で定評のあるホシノ天然酵母パン種がコアとして、バラ酵母を用いたユニークな地域発のパン種を開発・製造。福山大学の特産品の開発・販売に定評のあるぬまくま夢工房が販路を全国へ展開。</p>								
民間企業等から大学等に求められた事項								
<p>ホシノ天然酵母パン種との共同研究で、優良パン種製造に適した野生のバラ酵母を厳選。魅力のあるネーミング(ホシノ薔薇酵母パン種)とパッケージを産学官で試行。全国のパン製造業者に対してモニタリングを実施。</p>								
技術の新しい点、パフォーマンスの優位性								
<p>これまでに例のない新たなパン種を福山バラの酵母を用いて開発・製造することに成功した。これにより、福山市と福山大学のブランディングが形成された。ホシノ天然酵母パン種は、パン生地の発酵力が著しく高く、香り高く味わい深いパンの製造が可能である。全国のパン製造業者で幅広く利用されて、大好評を博している。</p>								
ファンディング、表彰等								
<p>・ファンディング、表彰等</p> <p>https://www.fukuyama-u.ac.jp/blog/16131/</p>								

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	940	百万円
研究者数	940	名

窓口	公的資金企画管理課
担当者	高木寛朗
TEL	0422-47-5511
Email	kenkyushien@ks.kyorin-u.ac.jp
産連HP	
シーズDB	

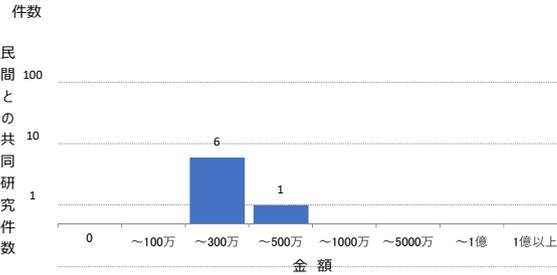
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
213,330	千円	148	

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
実績有割合無	有 無	有	無

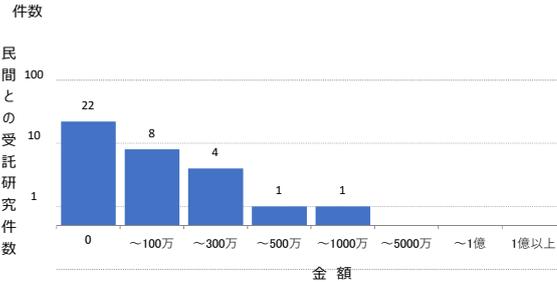
■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	18,366	14	14,667	8	位
民間企業のみ	17,818	13	13,667	7	位
大企業	17,518	12	12,167	6	位
中小企業	300	1	1,500	1	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	129,479	113	156,779	113	位
民間企業のみ	8,117	33	17,663	36	位
大企業	7,788	31	17,163	34	位
中小企業	329	2	500	2	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	1	名	940		
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願・活用実績

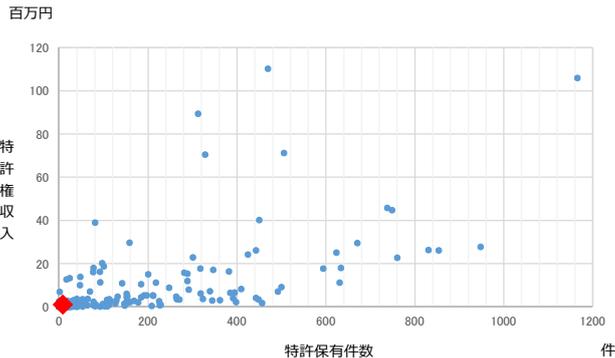
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

		研究者あたり
特許出願件数	5	0.005
特許保有件数	8	0.009

特許権実施等件数	1	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	1,000	1,000.0

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A43	靴物	2
2	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	2
3	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	1
4	A61	医学・獣医学；衛生学	1
5	G01	測定、試験	1



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	2 名	184

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0 社	インキュベーション施設	
相談窓口		支援ファンド	
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）	インキュベーション施設
有	無		

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
九州産業大学 シーズ発表会	3月
イノベーションジャパン-大学見本市	8月
フォーマラボEXPO アカデミックフォーラム	11月